



副園長日記

R3.11.9

すっかり秋も深まりました。幼稚園の木々も秋の装いとなり、木の実や落ち葉で楽しむ子どもたちの姿が見られます。

幼稚園では、9月27日と10月11日に湖陵高校保育実習、10月23日（土）に公開研究会、11月1日（月）に令和4年度入園選考が行われました。外部の方からみた附属幼稚園について知ることのできる良い機会になりました。

それぞれの来園者からいただいたご意見・ご感想を紹介します。

【湖陵高校保育実習】（家庭学科人間環境科の生徒）

- 私が保育実習で学んだことは個性を大切にしているということでした。クラスにしばられず自由に遊んでいて、とてもよい環境だと思います。



自分のやりたい遊びを自由にさせることによって様々な学びがあると考えました。

- 年長さんは遊びをしていて協力をしたり、何かをしてもらったときに「ありがとうございます」と礼儀正しくしたりしていて、とても素晴らしいと思いました。
- 学んだことは先生の立ち位置です。園庭で遊ぶときに園庭のすべてが見える位置におられたり、室内で遊ぶときには2, 3人と遊んでいる最中でもよく教室の中を見回しておられると感じました。
- 先生と子どもたちとの会話を聞いていると、たくさん褒めておられる姿を見ました。一緒にお話をするだけでなく、たくさん褒めることで子どもたちとの話を広げることができ、さらに保育者との関係も深めることができると分かりました。

【公開研究会】（県内の幼稚園・保育園などの先生）

- 遊びを保存できるスペースがあってうらやましいと思いました。
- 子どもたちがみんな生き生きとしていて“楽しい”が存分に伝わってきました。大人主導になりがちな自分の保育に気づき、これからの保育に生かしていきたいと思いました。
- 自然物がたくさん使われており、活動ごとに部屋がきちんと分けられていて良いなと思いました。園庭に山があったりトンネルがあったりと自然の中でのびのびと過ごせるようになっていて、素敵でした。
- 長期にわたり子どもたちの育ちを見ていく姿勢に感心し、勉強になりました。
- 今日の前にある姿だけでなく、その後の姿や小学校入学後も見据えて実践をするという視点がとても学びになりました。



【入園選考】（入園希望の保護者）

- コロナ禍でなかなかたくさんの方との交流ができないので、安全に配慮した上で多くの方と交流できることをとても魅力に感じた。
- 「自由保育」と言うことに正直不安はあった。園の説明や見学を通して、しっかりとした考えのもと保育が行われていると知り、子どもを預けたいと感じた。
- ぴよんぴよんサークルに来るたびに、園の楽しい雰囲気が好きになった。子どもが附属幼稚園に来ることをとても楽しみにしている。
- 充実した施設に驚いた。これほどの施設は他にはないと思う。子どもをのびのびと遊ばせることができる。たくさんの経験をさせたいと考えている。

附属幼稚園ってやっぱり素敵なおとこだと感じました。子どもたちのために何ができるのかと常に話し合って様々な工夫をして保育に取り組んでいる先生たちの思いを、外部の方にも感じていただけたことがとてもうれしいです。